

## 第 17 回かながわヴォーカルアンサンブルコンテストに出場！銅賞受賞！ 【富士通川崎合唱団】

3月8日(日)、富士通川崎合唱団は、神奈川県立音楽堂において開催された「第17回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト」(以下、KVEC)に出場し、銅賞受賞・2年連続部門別審査1位通過の成績を収めました。

このコンテストは、神奈川県合唱連盟・朝日新聞社が主催、2名以上20名以下の団体が声部・年齢などにより、5部門に分かれて競い合うものです。今回は全部門合わせて、33団体が参加しました。3名の審査員による審査の合計得点(絶対評価)により、各団体の賞(金賞・銀賞・銅賞・賞なし)が決定し、各部門の上位得点団体のみ、総合審査に進む事ができます。

当団は、昨年同様、男声の有志のみ(団体名:富士通川崎合唱団 男声部隊)で参加しています。

### 【演奏内容】

#### ■曲目:

##### 部門別審査

- 1) Ubi Caritas  
作曲: Ola Gjeilo
- 2) 男声合唱組曲「雪明りの路」から 春を待つ  
作詩: 伊藤 整 作曲: 多田武彦

##### 総合審査

- 1) 男声合唱組曲「雨」から 雨の日に見る  
作詩: 大木 惇夫 作曲: 多田武彦
- 2) 男声合唱組曲「雨」から 雨  
作詩: 八木 重吉 作曲: 多田武彦

#### ■指揮: 加藤雅子

このコンテスト出場は、地域のイベントに参加し、地元の方々とふれあいながら日頃の練習の成果を競うという、意義のあるチャレンジのひとつと位置付けています。

昨年に続き、普段取り組んでいる曲とは異なるジャンルに挑みつつ、合唱技術の研鑽とステージで歌う緊張感を楽しみたい団員が有志を募り、今年の男声部隊が成立しました。



01\_当日早朝ユニオンビルでの練習

当日は、小雨の降る天候であったものの、適度な湿気が声にはちょうど良いコンディションで迎えることができました。出場時間の都合上、早朝に練習場所である武蔵小杉のユニオンビルに集合し、最終調整を含む最後の練習に精を出し、会場へ向かいました。



02\_会場集合



03\_本番直前のリハーサル

1 曲目、イエイロの「Ubi Caritas」は練習でもかなり苦戦し、直前まで調整する等最も時間を割いた曲です。出だしと終わりの音のまとめ方にかなりの神経を使いましたが、練習の甲斐あってか、うまく収めることができましたと感じています。

2 曲目の「春を待つ」は男声合唱の定番ともいわれる多田武彦の作曲でもあり、余裕を持って臨んだつもりでしたが、途中で乱れた音程がしばらくもとに戻らなかった等の反省があります。

他の団体が非常に元気のよい演奏だったこともあり、総合審査進出は微妙なところでしたが、審査の結果、当団は銅賞ながら部門別審査男声部門 4 団体中 1 位となり、総合審査へと駒を進めることになりました。



#### 04\_部門別審査受賞式

総合審査の2曲、多田武彦の「雨の日に見る」「雨」は、ちょうど当日の天候を表す「もってこい」の曲でした。心をこめて演奏できた反面、少々萎縮した演奏になってしまった感は否めなかったかと、後から感じました。

審査の結果、当団は総合審査に出場した9団体中9位。他団体のレベルの高い演奏を目の当たりにし、課題の残る結果ではありましたが、数多くの強豪団体の中で男声部門代表として健闘しました。

今年は5月に当団単独開催の富士通川崎合唱団第9回演奏会が控えていることから、今回の経験を、また別の形で発揮できればと思います。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



#### 05\_演奏後の記念撮影



#### 06\_打ち上げ

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団(ベース)三木茂輝】